

## 会 議 記 録

次の委員会を下記のとおり開催したので報告します。

審議会等名称	令和2年度第1回 近江八幡市子ども読書活動推進委員 会議		
開催日時	令和2年10月8日(木) 15:00～16:15		
開催場所	近江八幡市教育委員会 2階会議室		
出席者 会長◎ 副会長○	<子ども読書活動推進委員> ◎市島委員    ○工藤委員    水委員    宮治委員    山田委員  <説明者・事務局> (挨拶) 東生涯学習課長 (事務局) 国本生涯学習課指導主事 (担当者) 森田幼児課副主幹 辰己学校教育課指導主事 近藤学校司書 前田学校司書 大澤学校司書 澤教育総務課副主幹 伊藤近江八幡図書館副主幹		
次回開催予定日	令和3年1月下旬～2月上旬		
問い合わせ先	所属名・担当者名： 近江八幡市教育委員会事務局生涯学習課 国本 電話番号：0748-36-5533 Fax番号：0748-36-5565 メールアドレス： <a href="mailto:045000@city.omihachiman.lg.jp">045000@city.omihachiman.lg.jp</a>		
会議記録	発言記録・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">要 約</span>	要約した理由	発言内容に個人情報等がふくまれていたため。

事務局	<p>1. 開会</p> <p>(1) 委嘱状交付</p> <p>定刻になりましたので、今年度の第1回近江八幡市子ども読書活動推進委員の会議を始めます。</p> <p>私は事務局を担当いたします、生涯学習課の国本です。よろしくお願いいたします。</p> <p>皆様におかれましては、平素より近江八幡市の子どもたちの読書活動推進において、各方面でご尽力いただきありがとうございます。また皆さまには、今年度から2年間、推進委員をしていただくこととなりますが、よろしくお願いいたします。</p> <p>本来ですと、お一人お一人に委嘱状、委任状をお渡しするべきですが、失礼ながら、机上に置かせていただきました。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>会に先立ち、生涯学習課長 東 がご挨拶申し上げます。</p>
生涯学習課長	<p>(2) 挨拶</p> <p>「第1回子ども読書活動推進委員会」を開催するにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。</p> <p>平素より、本市教育行政にご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。日頃は、子ども読書活動の充実に向けて様々な方面でご尽力いただき、ありがとうございます。</p> <p>さて昨年度、策定しました「第2次近江八幡市子ども読書活動推進計画」は今年で2年目となります。第2次計画では、毎日続ける読書活動、読書を通じて様々なことを学ぶ活動を大切にしたいという思いで取組を進めていきます。</p> <p>平成17年から本市で取り組んでいる「早寝・早起き・あき・し・ど・う」運動の中に、読書は位置づけられています。心と言葉を豊かにする読書活動が子どもの成長に大切なものであると考えております。</p> <p>本日は、「第2次近江八幡市子ども読書活動推進計画」における指標と実績の確認、そして11月の市民読書月間にむけた具体的な取組の検討を行います。様々な方面からご意見をいただき、子どもたちが本を手取るような取組ができればと考えております。また、図書館と教育現場と家庭のよりよいつながりをつくれるような仕組みづくりがこの場でできることを願っております。</p> <p>今後とも、皆様には、近江八幡市の子どもたちが、本に触れ、本の良さを感じ、読書を通じて心を育むために、なお一層のお力添えを賜りますことをお願いし私のあいさつとさせていただきます。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。課長は、公務のため退席いたします。</p>
(3) 自己紹介	<p>次に、ご出席の皆さまに自己紹介をお願いいたします。</p> <p>市島委員から順番をお願いいたします。</p>
委員	<p>皆さん、こんにちは。私は、市島恵子と申します。昨年度まで、委員長をさせていただいておりました。普段は中学生を対象にしたブックトークの出前授業に出ています。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>工藤雅子と申します。普段は八幡図書館で第2土曜日、第4土曜日に金田公民館で子どもたちにおはなし会をしております。また、公立高校3校に毎年頼まれて授業を1時間か2時間見させていただいています。小学校は、桐原小学校は毎年ありましたが、今回はコロナで流れてしまいまして、どうなりますか分かりません。近江八幡図書館のおはなし会もやっと11月から少々始まるようになりましたけど、金田は9月から始めております。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>武佐こども園の宮治と申します。武佐学区の読書支援計画に沿いながら図書館さんに日々助けていただいて、子どもたちと絵本に親しんでいます。どうぞよろしく</p>

	<p>お願いいたします。</p>
委員	<p>今年度4月から学校司書として勤めております大澤由香士と申します。いろんな機会をとらえて、学びを深めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>幼児課の指導グループにおります森田亜沙子と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>教育総務課の澤と申します。どうぞよろしくお願い致します。</p>
委員	<p>近江八幡図書館の伊藤と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>学校教育課の辰己と申します。学校図書館教育の担当をさせていただいております。どうぞよろしくお願い致します。</p>
委員	<p>学校司書の前田弘美と申します。よろしくお願致します。</p>
委員	<p>同じく、学校司書の近藤かおるです。よろしくお願致します。</p>
委員	<p>八幡西中学校の図書館担当をしています山田と申します。中学校では、学校司書の前田さんの力を借りながら図書室の運営、活用をすすめています。今年度は本校で「図書館を活用した授業の研究」というテーマで校内研究をしていますので、ここで勉強させてもらったことを持ち帰りたいと思っております。よろしくお願致します。</p>
委員	<p>水と申します。私は、安土おはなし童話クラブの代表としてここに寄せていただいております。普段は、安土保育所に月に1回程度と、第3土曜日に安土図書館でおはなし会に行っております。また、安土の子育て支援で絵本の広場をされるときにボランティアをさせていただいております。よろしくお願いたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。本日の出席者は13名となっております。半数以上の出席ですので、近江八幡市子ども読書活動推進委員会の設置要綱第6条第2項の規定により、本会議は成立しております。</p> <p>近江八幡市会議の公開に関する取扱要綱により、本会議は公開され、会議終了後近江八幡市HPに議事が掲載されますことをご了承ください。また会議内容を録音いたしますのでご了承ください。あわせて記録用に会議の様子を写真撮影しますが、不都合な方はお申し出ください。</p>
事務局	<p>(4) 委員長・副委員長の選出      当会設置要綱第4条第1項・2項の規定により、当委員会の委員長・副委員長はみなさまの互選となります。事務局の案としまして、委員長は市島委員、副委員長は工藤委員にお願いしたいと考えております。みなさん、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>よろしいです。</p>
事務局	<p>賛成多数で、委員長は市島委員、副委員長は工藤委員にお願い致します。      では、市島委員長、委員長就任にあたりご挨拶をよろしくお願い致します。</p>
委員	<p>(5) 委員長あいさつ      改めまして、市島でございます。これから1年よろしくお願い致します。今日は朝から雨で、数日間雨が続くようです。台風が近づいているのでどうなるのかと気になります。幾分気温も落ちて、秋がどんどん深まっていくなと感じておられる委員さんも多くいらっしゃると思います。</p>

	<p>私はここに来る途中、暑い夏の最中、本市の図書館を訪れた日のことを思い出しながら運転して参りました。この夏休みの間に、来年度から新しく変わる教科書展が3週間か4週間開かれました。私も教員をしておりましたので、どんなふうに教科書が新しくなるのかしらと思いつつ、友人を誘って訪れました。ものすごい数でしたのでポイントを絞ろうと思いつつ、小学校から見ようか高校から見ようか、はたまた中学校にしようか悩んだのですが、ざっと見る中でやはり、国語と道徳に絞りました。特に、国語の読書のページが一体どうなっているのだろうかと思いつつ、見ました。そうしますと、ほとんどの教科書は読書のページがあるのですが、中でも某社は1年生でブッククラブのこと、2年生でビブリオバトル、そして3年生でブックトークが結構詳しく掲載されていました。しかも、3年生のブックトークのところでは、子どもたちが実際にテーマを決めて選書をして、そしてシナリオを作り、みんなの前で発表していこうという手順までもが示されていました。それを友人と読んだ時に「いよいよ読書の時代が来たね」と言って、少し嬉しくなりました。</p> <p>そのあと、道徳の教科書を読みましたら、やはりいろんなジャンルの本がいっぱい採用されていて、子どもたちは今までよりもより多くの本、いろいろな本に接する機会があるのだろうと、友人と意見交流しながら読みました。「来年度、子どもたちの読書に関する記憶はどんなふうになら変わるのかな。すごく期待されるなあ。」と思っております。</p> <p>今年度はコロナの影響で少し第一回目のスタートがこの時期になりましたが、できるだけ皆さん方と現場の声を拾いながらどんなふうに読書活動を進めていけばいいのかということをお聞きと共にお考えいただければいいなと思っております。どうかよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。これより議事に入ります。当会設置要綱第6条第1項の規定により、このあとの進行は、市島委員長にお願いいたします。</p>
委員	<p>(6) 協議</p> <p>それでは、本日の次第に沿って進めていきたいと思っております。はじめに、それぞれの指標の進捗状況について各担当者からご報告をおねがいしたいと思います。1番から8番までと言う順に示されておりますので、学校教育課より「学校司書の配置の割合」についてお願いいたします。</p>
委員	<p>本市は今年度より学校司書を4名の配置をしております。4中学校12小学校ある市内の小中学校に、中学校1校ずつ小学校3校ずつ、合計お一人で4校を担当していただいております。割合としては25%の配置割合となっております。</p>
委員	<p>ありがとうございます。それでは2番目。「1ヵ月に1冊以上の本を読んだ子どもの割合」について、学校教育課よりお願いします。</p>
委員	<p>これにつきましては、県から毎年読書に関する調査が5月にありますが、今年度はコロナウィルスの関係で学校が閉じていたので、今年度の調査は未実施となっております。</p>
委員	<p>これはまた時期を変更して年度内にあるということですか。</p>
委員	<p>県の生涯学習課からはまだ連絡は来ておりません。</p>
委員	<p>それでは3点目に参ります。「家で10分以上の読書を継続している子どもの割合」について生涯学習課よりよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>こちらの調査に関しましては、具体的に県から調査の依頼がくるというものではなく、この委員会独自の調査になります。今までの調査をさかのぼっても、具体的</p>

委員	<p>にこの調査が単独で行われた形跡がありませんでした。委員の規定としましては5月から11月の間に実施をするとなっておりますので、現場の様子を見ながら、小学校、中学校、高校とできれば実施をしたいと考えております。また第二回の委員会で報告できるように準備をします。</p> <p>ありがとうございます。また「10分以上」というこの数字がどこから出てきたのかと思いました。4、5年位前に決めたかもしれませんが、もしこの数字について分かればうれしいです。</p>
事務局	わかりました。
委員	では続きまして4点目。「就学前施設の一人当たりの年間貸出冊数」について幼児課さんよろしくお願ひします。
委員	<p>就学前施設におきましても、今年度はまだ調査はできておりません。昨年度の結果でいいますと、全体で年間貸出冊数が25.4冊という結果となっております。詳しく見ていきますと、1、2週間ごとに貸し出しを行っている園、まだできていない園、随時貸し出ししている園など、様々な仕組みに分かれており、その違いがどのように影響しているのかを調査していきたいと思っております。今年度は「絵本に囲まれて育つ子ども推進事業」という交付金がありまして、保育所、幼稚園、こども園には100,000円分の絵本を、定員が19名の小規模事業所には50,000円分、定員が5名以内の家庭的保育事業所には10,000円分になりますが、絵本を購入させていただき絵本も少し増えるので、その後どのように活用しているのかということも加えまして、今年度調べてご報告できればと思っております。</p>
委員	それでは5点目です。「学校図書館での一人当たりの年間貸し出し冊数」について学校教育課さんよろしくお願ひします。
委員	<p>令和元年度の数字ですけれども、昨年度3月は休校になってしまいとれないところがありますが、平均すると小学校で一人当たり18.2冊、中学校で一人当たり2冊という数字となっております。また、昨年度まで司書さんが3人でした。司書さんに月に1、2回程度行っていただいていたいわゆる「支援校」という学校と、週に2回行ってもらっていた「推進校」という枠組みで昨年度まわっていましたが、やはり司書さんが多く行っていただいた学校の方が貸し出し冊数は増えているということも付け添えさせていただきます。</p>
委員	では7点目に参ります。「図書館と連携を実施している校園所の割合」について幼児課と学校教育課、よろしくお願ひいたします。それでは幼児課からよろしくおねがいします。
委員	<p>実際の詳しい数値まではこちらの方で把握できてないないですけども、各園での取組を聞いておりますと、図書館に来ていただいておりますおはなし会をする取組や、絵本を毎月100冊借りさせてもらって園の方で活用する取組や、子どもたちが図書館のほうに向いておはなし会、そして貸し出しと遠足のような取組をしている園がどんどん増えているように思っています。私、一昨年まで武佐こども園にいましたが、やはり図書館のカードを持っているお子さんが少なかったのが、こういう取組をしていく中で少しずつ増えてきているように思います。やはりこちらが意図的にそういう取組を設けることで増えてきているのですが、保護者さんの考えや図書館に近い遠いと言う立地条件とかもあると思うので、やはり親さんに向けての色々な啓発が必要だと思っております。</p>
委員	おはなし会は年間何回と決まっているのでしょうか。

委員	<p>毎年4月に打ち合わせさせていただいて、どの子ども園でおはなし会を聞かせていただいています。そして図書館に訪問させてもらっております。4歳以上は図書館に行くという経験を1年に1回させていただいています。</p>
委員	<p>では、学校教育課よろしくお願ひします</p>
委員	<p>市立図書館との連携は学校によって程度の差はありますが、すべての学校で連携できる体制は整えてあります。小学校ですと図書館へ見学や、授業で活用するための集団貸し出しにも図書館で対応をさせていただいているという状況です。</p>
委員	<p>次に、「図書館での児童書の一人当たりの年間貸し出し冊数」についてお願いいたします。</p>
委員	<p>年間の一人当たりの貸出冊数については、平成29年度は15.5冊でしたが、昨年度は前年度から14,875冊児童書だけで増加いたしました。17.1冊になりました。2023年度の目標指数1.7冊を昨年度超えました。今年度はコロナの影響で4月半ばから5月半ばまで閉館していたということもありまして、総貸出冊数は下がっています。9月の月間の貸出冊数は昨年度同月よりも上回ったという状況です。</p>
委員	<p>すごいですね。23年度の目標が達成できたということは、最後8点目です。「読書活動に関わる研修の実施や研修への参加」に関して幼児課、学校教育課、お願いいたします。</p>
委員	<p>幼児課で主催する研修は、滋賀短期大学の先生に来ていただいて研修会を行う予定をしております。各園につきましては、それぞれの園の重点取り組みに合わせて講師を招いて職員の研修会をすとか、親子で読み聞かせを一緒に聞いてもらうとか、保護者向けの研修会にということで考えておられる園もありますが、今年度はコロナ禍の中にあるということでもなかなかそれが実施できていない園が多いと思っております。</p>
委員	<p>滋賀短期大学の先生は、いつ来られる予定ですか。先生方対象でしょうか</p>
委員	<p>職員向けの研修になります。1月14日に滋賀短期大学の浜崎先生をお迎えする予定になっております。</p>
委員	<p>学校教育課、よろしくお願ひします。</p>
委員	<p>市独自の研修としては、実施できていない状況です。県が実施する県域での研修会の案内を各校に周知して参加していただいています。また12学級以上の学校には司書教諭というものが必須になっておりまして、新しく司書教諭になられた先生方には必ず一度研修会に参加していただくということです。学校司書も同じように県で実施される研修会のほうに参加をしてもらっているという状況です。</p>
委員	<p>研修はそれぞれの学校にお任せということですね。</p>
委員	<p>必ず参加していただいている先生は新しく司書教諭になられた先生方です。他の方は必ずではありません。</p>
委員	<p>以上、各担当課による報告が終わりました。それでは今の報告を聞いていただいたの協議及び意見交流に入ります。皆様からのご意見やご質問をお受けしたいと思います。</p>
委員	<p>昨年度は武佐こども園に特別に推進で力を入れていきましたね。今年度は他の園</p>

	になるのでしょうか。
委員	武佐学区への読書支援計画は5年計画になっております。今年で4年目です。この後も継続していきたいという思いですが、来年度で計画が終了するので、5年間の成果を検証していきたいと考えています。
委員	その成果を見て、その後何年か取り組むということも考えていくということですね。武佐も随分変わったといういい報告を昨年度から聞いています。
委員	図書カードを持っている人が少ないとありましたが、なかなか遠方だと難しいのでしょうか。
委員	安土が近いので、必ず安土に行った後は近江八幡図書館に行くなど、どちらにも訪問をさせていただいております。図書館に行く経験と図書カードを作るというきっかけは毎年すべての子どもたちが持つようにしております。
委員	園に在籍している子どもたちはカードを必ず持っております。
委員	後いかがでしょうか。
委員	図書館が子どもの児童書の貸し出しが増えたというのは、どういうことを頑張っているのでしょうか。どういう要因があったと思われますか。
委員	乳幼児向け、0歳児から5歳児向けの司書のおすすめ本リスト「この本、知ってるよ!」という絵本の紹介を作成しました。それを図書館に設置し、また公立の幼稚園、保育所、こども園に配布をさせていただきました。また、幼稚園にある絵本の整備が課題になっていることを伺ったので、2か月に1回50冊のお薦め本を各公立の園・所に配本し、先生に読み聞かせに使ってもらったり、保護者の方に借りてもらったりということで去年から進めさせてもらいました。また本を手にとってもらえるきっかけとなるような様々な企画を考えて、多くの子どもたちに来てもらえるような取り組みを前年度以上に実施したというのも1つの要因だと考えております。
委員	図書館さんの企画はすごいですね。ちょっと間を空けて行くと、また新たなものになっている。「最近すごく頑張っているなあ」と来館者の方にも響いているのではないかと思います。
委員	お願いがあるのですが、公共図書館で本バスとかを購入していただいて、小学校とか中学校に回っていただけたらありがたいなと思っています。私、甲賀市在住で図書館がバスを持っていて、小学校とか中学校に本バスで回ってくださいます。「この日はここの小学校」とか決めておられて、その時に先生から依頼のあった本も一緒に持ってきてくださったりとか、前お借りした本を回収してもらったりとかしていただいて、そういうのも近江八幡市でしていただけたらありがたいなと思います。
委員	4月から移動図書館を導入することになりました。八幡学区以外の市内のコミュニティセンターなどを巡回する予定です。遠隔地の幼稚園、こども園、保育園、小学校などもステーションとして計画を立てております。これを足掛かりにできるところからやっていきたいと考えています。
委員	また新たな取組がスタートするんですね。今まで遠いところにおられた方は、楽しみにされているのではないかと思います。いろんなところを走ることで、子どもたちの読書量も増えたらいいのになあと思います。忙しいお母さんも行きたくても

	<p>行けないというのもあると思いますし、すぐ身近なコミセンとかにあると行かれるんじゃないのかなと思います。</p> <p>今そのバスの話があったのでお尋ねしたいのですが、名前を募集されてましたね。あれはもう決まりましたか。</p>
委員	<p>只今、選考しております。9月1日から30日までの募集期間でしたので、何点かいただいた中で、これから名前を決めるところです。市内の絵本作家、はやしすすみさんの絵をイメージしながら、沢山のネーミングを考えてくださっています。</p>
委員	<p>それはどんな形のバスなんですか。開いたら本がダーと見えるのか、中に乗り込めるのなど、いろいろな形があると思うのですが。</p>
委員	<p>大型ではなく、中型のバスなので、1,500冊から2,000冊程度搭載できる大きさになっております。今移動図書館車を作っているところです。</p>
委員	<p>そういう所に出かけられる職員さんが必要になりますよね。そうすると人数が増えるといいですね。今でもすごくお忙しそうにしておられるので。</p> <p>あと、ございますか。それでは、ないようなので、次の協議事項に入りたいと思います。今年度の子ども読書活動推進に関わる具体的な取組について、事務局の方よりよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>先日担当者会を持ちまして、来月11月の市民読書月間に合わせて、何か子どもたちの読書がより豊かになるような具体的な取組が今年度からできないのかということで、話し合いや意見交流をさせていただきました。まず、いろいろ出た案を出させていただきますと、5分間自分の選んだ本を紹介して、参加者で投票する「ビブリオバトル」を子どもたちにもう少し広める取組です。先日、司書研修でも実際にここでさせていただきました。</p> <p>あと、ブックトークがなかなか学校に訪問してするというのが現状難しいので、給食など静かに過ごしている時間に「ビデオでブックトークを流す」というものができないかと考えました。ブックトークの講師の先生が学校に行きたいけど行けないので、子どもたちの給食の時間を使って本の魅力を伝え、おすすめの本を紹介するビデオが流せないのかということも話していました。</p> <p>あと近藤さんの方から挿絵展の紹介をいただいたんですけども、少しご説明いただけますでしょうか。</p>
委員	<p>挿絵展というのは、岩波少年文庫さんが企画をされていまして、岩波少年文庫の挿絵のデータをいただいてA3くらいのパネルを作り、そのそばに掲載されている本も一緒に飾るものです。金田小と八幡小は申し込みをしてデータをいただいているので、現在本を集めているところです。</p>
委員	<p>岩波書店さんの何というものですか。何か名前をおっしゃいましたね。</p>
委員	<p>70周年の挿絵展で企画をされているものです。申し込んだら、パスワードをくさって、そのパスワードを入力するとその挿絵をダウンロードできるというものなので申し込まないといけないんですけども、金田小と八幡小は申し込んでダウンロードさせてもらったので、今パネルを作っています。そのパネルを貼ってその挿絵が載っている本を並べて挿絵展をしようかなと思っています。</p>
委員	<p>お話のもとになっているのが、この絵だよということですね。</p>
委員	<p>文庫なので、文庫の中の挿絵が描かれているんですけども、とてもよいものです。</p>
委員	<p>何種類かあるんですか。</p>

委員	25種類あります。
委員	それはそれぞれの学校に「こういうことを申し込まないですか」という案内が届いているのですか。
委員	案内は、本の紹介の雑誌に挟まっていたので偶然見つけました。やってみたいなと思ったので、司書教諭の先生に相談をしたら「やりましょう」ということになったので申し込みをしていただきました。
委員	これは図書館前の廊下ですか。
委員	金田小はガラス張りになっているので、ガラスに貼って下に椅子を置いたりして本を並べようかなと思っています。ハロウィンのイベントが今年できなさそうなので、挿絵展でその本の中からクイズを出してみようかなというのも考えています。
委員	実際そういうことになったら、またご案内いただきたいですね。せっかく新たな企画だから、どんなふうになっているのか見てみたいですね。
委員	そのパネルは挿絵だけを写真だけで撮るのはだめですが、全体なら撮ってもいいということなので、様子を写真に撮ってもいいということになっています。
委員	これは期間が決まっているのですか。
委員	今のところ期間はあまり決まっておられません。
委員	とてもよかったら、他の小学校もできたらいいと思います。子どもたちは興味を持つのではないのでしょうか。原画展のプリントアウトしたものということですね。他の小学校もやってくさるといいですね。
委員	市内の図書主任さんや司書教諭さんや学校司書さんが見に行けるような機会を作ってもらったらいいかなと思います。
事務局	その他にも、コロナに関するデータを展示される取組を大澤さんの方でお聞きしたんですけども、少しご説明お願いできますか。
委員	コロナウィルスが今とても世の中で騒がれているのですけども、それについて藤田医科大学の方でデータに基づいた何か情報をプリントアウトしようかと考えています。掲示していいのかどうか、保健衛生の分野なのでどこまで立ち入っていいのかどうか分からないですけども、図書館でそういう関係のものを掲示するのでもいいのかなと思っています。
事務局	以上のような意見交流がありました。
委員	すごいですね。いろんなことが新たに出てきましたね。
事務局	今日の資料の中で、「市民読書月間に向けての取組」というカレンダーをつけさせてもらっております。本来ですと、もう少し早い段階で会議ができると、その準備等にも時間が取れるのですけども、本日が10月8日で11月までとなると、あまり日もない中でどんな取組ができるのかということが合わせて話し合いができればと思っています
委員	無理のない程度でやっていただいて、またさらに来年に深まりができればいいなと思います。ありがとうございます。この具体的な取組について、いろいろなご意

委員	見やご質問などあるんじゃないかと思いますが、いかがでしょうか。  今あがったもの全てができるということではないですよ。それぞれの学校でどれか1つでもという感じで受け取らせていただいたらいいでしょうか。
事務局	そうですね。
委員	今までほとんど、こういった取組がごくごく1, 2校ではあったと思うんですけども、市内全体としては「こんなことをやりましょう」ということにはなかなか到達できなかったように感じています。そんな中で、こういったご提案があれば「うちの学校もやってみようかな」と司書さんをはじめ主任さんであったり、委員会の担当の先生であったり、司書教諭さんであったり共感していただけるのではないのかなと感じました。それぞれの司書の特徴を生かされてもいいのかなと思います。司書さんにもまた頑張ってください、また新たな提案をお待ちしたいなと思っております。実際に現場の方から八幡西中学校の先生が来ていただいておりますが、今のご提案を聞いていただいて何か思われるところはありますか。
委員	給食の時にブックトークをビデオで流すというのも言われたので、実際に来てもらってということを考えて年間計画を立てていますが、そうやって途切れなく定期的にそういうことができれば、本に興味を持つ子は増えるのかなあとと思います。今、本に興味を持っている子は学校図書館にも公立図書館にも足を運んでいますけれども、今現在本にさほど興味がない、目が向いてない子どもたちを掘り起こすような取組が継続してできれば、つながるかなと思ったので、そういうのはいいのかなと思います。
委員	今年度はコロナの影響もあってか、市立図書館からのブックトークの出前が小学校のみになりましたね。
委員	今年度は、小学校も実施していません。例年5月から7月にかけて受け入れしている小学3年生の図書館見学も、時期がずれて、今受け入れしている状況です。
委員	今まで楽しみに待っていた子どもたちは残念に思っているでしょうね。つい先だって中学校の先生とお会いする機会があって、「中学校にも来てもらいたいのに、市島先生残念やわ。」とおっしゃっていました。ぜひ来年度はコロナが少しおさまって、また今まで通りできたらいいなと思います。
委員	西中と八中は移動図書館のステーションになる予定なので、力を入れていきたいと考えています。
委員	ビブリオバトルは近江八幡市内の小中学校対抗とか中学校対抗とか、そういう風になっていったらいいのになと思っていますが、どこかで企画をしていかないと実現しないのかなと思います。
委員	そうですね。それはやはり担当の先生方が、それぞれの現場で「やる」ということが成り立たなかったら、その希望は残念ながら叶えられませんね。でも少しでも読書活動に目が向くように挿絵展にしる、コロナのデータでやるとか、いろんなことが1つでも出来上がってきたら、その延長で「今年度は市内のビブリオバトルを小中高で頑張ろうか」とか、そんなふうに主任会でも持っていたらそれは可能になるでしょうね。担任の先生も「ビブリオバトルやったことないけども、勉強しようかな」とそういう点で教育委員会の方で、そういう研修の場を組み立てただけとか、そういうことがあると、一度やってみようかと。 ビブリオバトルは国語科の先生だけじゃなく、学級担任の先生もやれば楽しいなというふうに思ってください。先ほど図書館さんに寄せていただいて道徳

委員	<p>の教科書を見せていただいたと挨拶させていただきましたけれども、やはり道徳というのは担任の先生がなさるわけで、やはり「読書=国語」ということじゃないということで、また1つずつ変わってくるというのになと思っております。</p> <p>心揺さぶる挿絵の世界展ですが、読書月間の期間だけでなく、ナルニア国物語は7巻のシリーズ、ドリトル先生も13巻のシリーズになっているので、図書館では10月29日から年内27日まで展示する予定です。年明けからイラストや感想、オススメなどを募集したいと考えています。それがもし市内の小学校で同じように展示やイラストなどの募集ができればいいと思います。</p> <p>読書月間中、市内全体で何か取り組める事業があったほうがいいと思います。図書館は学校が休みになった2月、3月は利用者が急増しました。ところが、学校が6月に再開してパタッと子どもたちの来館者数が減少してしまいました。夏休みもいつもよりも少ない状況でした。現在も来館人数が去年の同月よりも少ないですが、学校には子どもたちは毎日通っています。</p> <p>広報の8月号に、0歳児から5歳児向けのおすすめ本リスト、「この本、知ってるよ！」紹介したところ、広報を持って本を借りに来られたお母さんがいらっしゃいました。読んでもらいたい絵本を届けられたというのが実感しています。</p> <p>ところが、読み物となると、手軽に読める特定の作者のシリーズの貸出が多い状況です。この心揺さぶる挿絵の世界展は、長く読み継がれている定評のある本にふれることができるきっかけになると思います。</p> <p>岩波少年文庫を読める対象は小学5年生か6年生ぐらいから。4年生ぐらいから読める方もいるかもしれませんが、どこかで定評のある本をこちらが提示して、本と子どもたちをつなげていくという機会を作りたいと思います。子どもたちが読書に親しめる企画を作りたいと思うのですが、いかがでしょうか。幼稚園保育園が対象から外れてしまい、申し訳ないですが。</p>
委員	<p>ポスターとか作っていただいたら、一緒にそこにポスター貼ったりとかして紹介したりとか、「こういうことをやっているから、応募したらどう？」とかっていうのは言っていけるかなと思います。</p>
委員	<p>書いてもらう用紙を統一して小学校で市内全部一緒にやっていくといいのかなと思うんですけども。そういうのをやってももらえるのか。</p>
委員	<p>私は、今八幡小と金田小ですけど、そういう話もちらっとありました。なので、もししていただけるならポスター貼って用紙置いといて先生にすすめたりとかしてすると、そのクラスでやってくださったりとかいうのもあるかもしれないし、いいのかなと思います。</p>
委員	<p>図書委員会の活動の1つでもできるかもしれません。</p>
委員	<p>まずは図書委員さんとか。なかなか岩波文庫だと敷居が高いかもしれないので。</p>
委員	<p>いろいろ楽しい企画の話が聞けていいですね。ほか、いかがですか。今日は高校の司書さんはいらっしゃいますでしょうか。</p>
事務局	<p>高校で今読書週間をされていて、そちらでお忙しいということでご欠席をさせていただきます。</p>
委員	<p>小学校の先生は。</p>
事務局	<p>会議が別にありますして欠席となっております。</p>
委員	<p>またそういった先生方にもご意見いただけたらいろいろ出たかなあとと思いますけ</p>

事務局	<p>ども。ほか、いかがですか。事務局の方からもどうですか。</p> <p>具体的に「何か今年これしましょう」というのが1つでも決められるといいなと思っています。やはり11月が市民読書月間というのがどれだけ認知されているのかというのが僕はすごく気になっていて、それを発信するっていうのも意味があるきっかけにもなるのかなと思っているので、何か取組をすることと合わせて市民読書月間であるということセットにできる取組があるといいなと思っています。</p>
委員	<p>そういった心強い発言があると「まあこの1年ずいぶん進むのかなあ」というふうに明るい展望が持てますね。</p> <p>「心を育む絵本の時間」と言うことで、国本先生の方から1部お配りいただいているのですが、これも今までにない取組ですね。</p>
事務局	<p>これは人権啓発という位置づけで作ったものですが、今年度の読書活動の推進に担当していることもあり、読書と人権啓発を合わせてということでコロナ期間中の子どもたちの心の育みに本の力というのはすごく大きな力になると思うので、先生方にお配りさせてもらったものです。伊藤さんをお願いをして、たくさん本をご紹介いただいて、その中で選ばせてもらったものを市内の幼稚園と小学校の先生方に全員お配りさせていただきました。「こういった本がありますので子どもたちに紹介をすとか読み聞かせをすとかそういう風にご活用いただければいいな」と思って配布をさせていただきました。</p>
委員	<p>ありがとうございます。またどっかで中学生向けのものもあるといいなと思いますね。また違うのかなと思いますね。「今年はこんなのも出たんや」ということで多分現場で先生方も見てくださっているのかなと思います。</p>
事務局	<p>絵本といえども、僕が読んでもじんとくるような作品も多かったもので、例えば中学校で道徳の時間に最後価値項目に沿ったような絵本を読んでもらうとか、そういう使い方もあります。僕自身も中学校で道徳の授業している時に絵本を最後に読んで終わる締めくくりもやっていたので、そのように中学校の先生にも活用してもらいたい。絵本ですと、短時間で読み終わるものもあるので取り入れてもらえればなあと思っています。</p>
委員	<p>辰己先生の方からは何かございますか。</p>
委員	<p>僕は実は体育が専攻で、これまで読書とは本当に無縁な日々を歩んできたんです。たまたまですね、このビブリオバトルを見る機会があったり、する機会があったりしまして、そこから本の世界にも興味湧いてきた。今日、小学校の先生も高校の先生も公務のご都合で欠席なんですけども、やはり今の学校現場は非常に先生方が忙しい。だから、教育委員会からもお願いすることを一つ一つやはり本当にこれは必要か精選していったり、なるべく学校の負担にならないような形でということをや頭の片隅に置いているんです。これをしてくださいと言うのはなかなか言えないような状況で、何とか先生方にも僕のように何らかの形で本に出会ってもらえるような機会が作れると1番いいなあと思うんですけども、なかなかそれは難しいのかなあと感じています。自分がそういう風に興味を持った事は子どもたちにも伝えたいなという気持ちになってもらえると思うので、どうすればいいのかなと思います。</p>
委員	<p>自分たちの知らなかった世界を垣間見る機会があると、人ってどこかで心揺さぶられるところがあったりして好きになっていくというプロセスを踏む場合があると思います。1つそういう研修の場を提案していただく、そういうことが必要になるのかなと思いますね。少しでも夏休みなどの長期間中であつたりとか、そういう場面での研修であるとか、忙しい中先生方にも参加していただけたらいいかなと思います。</p>

委員	<p>私も、初めてここによせてもらって小学校、中学校に行くまでの0歳の子どもたちがいるんですけども、0歳の子も好きな本が自分の中であって、毎日それを取って言うんですね。先生もそれを知っているから、指をさしたら、「〇〇ちゃん、これやんなあ」って渡すんですね。それが0歳からずっと日常にすごくあって、多分どの子も139人いるんですが、1回も本を見ずに帰った子は絶対ないと言い切れるくらい本当に本が好きなんです。必ず大きいクラスは1日2冊読むこともあって、帰りの会に今日の絵本を選ぶ当番があったりして、たくさんある玄関の本から読みたい本を選んできたり、その中に図書館さんから借りた本が50冊あって、それも選んでいい絵本の中に並んでいます。</p> <p>「昨日読んだこれをもう一回読みたい」と取りに来る子がいたりして、絵本に触れる機会が0歳から5歳までであるのはいろんな取組をしてくださった成果が確実に出るなど私もこの担当させてもらって今年度感じています。</p> <p>コロナで実際の出会いはないんですけども、本を通して図書館さんが持ってきてくださっている本をおうちの方か子どもさんに紹介する機会というのは園独自で「絵本だより」を出していて、そういうところでさせてもらっているので、今できることが何なのかなと言うのも考えるのも大事だなと今日感じさせてもらえました。</p> <p>また、職員間でも「今日読んだあの本よかったよ」とよい本を紹介する職員間の雰囲気があるので、図書館から借りた本の表紙を見る機会がないんですけども、手に取ることで表紙見て「これよかったよー」と言って下さると「うちも読むわ」と結構横に広がっているのを感じるの、今日きかせてもらって小学校行くまでの今のこの時期にやはり絵本の出会いがいっぱいあるといいなと勉強させてもらったなと、私の思いですけども、これからも続けていきたいなと思います。</p>
委員	<p>おっしゃっていることがすごく伝わってきました。私も一昨年でしたか4ヶ月健診に寄せていただいたことがあるんですね。その4ヶ月のまだ頭が座るか座らないかそれぐらいの子どもがお母さんに抱っこされてボランティアの方の読み聞かせを聞く様子がすごいですよね。こんな小さい子がこんな風を感じてるのか。体全身でファーファと感じたり、指を向けて同じページを求めたりとか。今のお話を聞かせていただいてもっともっと豊かな気持ちになって聞いてくれるんだなあと感じますね。</p> <p>なので、私たちもいろんな場面場面を園、小学校、幼稚園、中学校の生徒たちそれぞれの成長段階においてどんな風に反応示してるのかというのを見たり聞いたりするのも私たち自身の勉強につながるのかなと思いますね。そんなふうに見ることを通じて新たな発想が生まれることにもつながってくるんじゃないかなと思います。高校生のもうすごい体つきした男の子たちでも工藤委員がやってくださっている読み聞かせをすごい背筋を伸ばして50分ずっと前を向いて私語1つしない、そういう場面を私もずいぶん前ですけども見せてもらったことがあるんです。これこそ本の力だなと思っています。</p>
委員	<p>子どもたちは中学校、高校ぐらいになると本をどんどん読まなくなってきましたけども、読んでもらうのは大好きです。高校の授業で、幼稚園保育園などの実習に行きますから、その前の学習として頼まれて絵本がいかにか楽しいかということをお伝えに行くわけですね。こんなに自分が楽しかったら、読む側になったときすごく楽しめるよということをお伝えします。本の持ち方とか、園児に話す時はこんな声がいいとか伝えるんですけども、ともかく始まったら子どもたちは高校生でも見えますね。高校生なんて聞いてくれるのかと思っていましたが、実際に話し始めるとチラチラと見えますし、本を読み始めると聞き入ってくれます。やっぱり最初やる時にはもうやっぱり辞めたいなあと思うんですけども緊張しますから、やっぱり終わったときは私たちが喜びや力をもらって帰りますね。</p> <p>保育園、幼稚園の先生がおっしゃってるように子どもたちは本が大好きなんですけども、でもそれをつなげていくことがとても難しい。実社会はいろいろ魅力があるものがいっぱいありますから。今、私が仕事をしてる中で子どもたちは毎日出会</p>

委員	<p>うんですけども、好きな子はやらなきゃいけないことを置いてまず本を出しますがそれぐらい好きな子が好き。待っている時間も読む。読まない子は待っているのに、そこにいっぱい本があるのに、と思うんですけども、やっぱり読まない。だから、そこら辺がたくさん幼い時に読んでもらえておいて楽しさを知っている子は知らない間に魅力にはまっていますね。さっきおっしゃったように子どもの本かなあ絵本かなあと思っても大人が読んで結構手ごたえがあったりこれ面白いなあと思ったりする本があるので、本の力というのは3歳の子に行ける本は3歳以上の子は全部楽しめるという力がありますから。絵本だからと言ってバカにはできないです。</p> <p>今日はたくさん意見を出していただいたので良い会になったと思うんですけども、あともう一言という方がいらっしゃいますでしょうか。よろしいでしょうか。それでは熱心な話し合いをどうもありがとうございました。では本日の議事は終了いたしました。ここで議長の任を解かせていただきます。皆さんどうもありがとうございました。</p>
事務局	<p>市島委員長ありがとうございました。本日はお忙しい中ご参加いただきありがとうございました。11月の読書月間、令和3年4月23日の子ども読書の日に向けて本日出た意見をもとに子どもたちの読書活動が少しでも豊かなものになるようにご協力いただきますようよろしくお願いいたします。次回につきましては1月下旬から2月上旬を予定しております。また本日出た進捗状況等で図れていないものはまた2回目の場でご報告できるようにご準備をお願いいたします。それでは閉会の挨拶を工藤副委員長よろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>今言ってくださったことがその通りだと思います。またこの1年間できることと言えば、自分の身の回りのことをするしかないですから。まずできることを何でも子どもたちのために努めていただきたいと思います。大きなことをしようと思うとなかなかできるものではありませんから。では、子どもたちのことを祈って終わりにいたします。ではどうぞお気をつけてお帰りください。</p>

担当課 ⇒ 総務課